

# 安倍氏「核共有 日本も議論を」

## 侵攻踏まえ「タブー視なし」

自民党の安倍晋三元首相は二十七日のフジテレビ番組で、北大西洋条約機構（NATO）加盟国の一

が採用している、米国の核兵器を自國領土内に配備して共同運用する「核共有」政策について日本でも議論すべきだとの考え方示した。

どのように守られているのか。現実の議論をタブー視してはならない」と述べた。

仮に核共有政策を採用すれば日本が堅持する非核原則に反する。政策の大転換となりうだつたかとの議論もある」と指摘。核共有を巡り「日本もさまざまな選択肢を視野に入れて議論するべきだ」と強調した。

器を使用、保有する選択肢はない」と明言している。

ソ連崩壊後にウクライナが核兵器保有を放棄する代わりに米国とロシア、英国が主権と安全保障を約束した一九九四年の「ブダペスト覚書」に言及して「あの時、戦術核を一部残していくべきだとの考え方示した。岸田文雄首相は十四日の国会答弁で非核三原則に關し「国是だ。核兵器を踏まえ「世界の安全が